

令和7年度支援プログラム 振り返り

宙

令和 8 年 2 月 1 日

事業所理念	宙は、様々な遊びを通して、楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00～17:30 第2単位 9:00～17:00
支援方針	①コミュニケーションを図りながら集団活動に参加する。 ②様々な活動を通して体力や考える力、思いを伝える力をつける。 ③見通しをもって活動に取り組む。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	まとめ
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善	手洗い、うがいやマスクの着用などを毎日徹底して伝えたことで、声かけで取り組むことができるようになった。 椅子を引く、玩具を片付ける、食事やおやつ前後は机を拭く、着替え後は服を畳んで袋にしまうなどが習慣化するよう繰り返し練習した。 活動では散歩や体操を取り入れて健康的に体を動かすことができた。長期休暇にはおやつ作りの活動でおたまや箸を使って材料を混ぜたり容器に入れたりした。
		健康の増進	
		生活リズムや生活習慣の形成	
		リハビリテーションの実施	
	運動・感覚	基本的な生活スキルの獲得	活動では散歩や体操を取り入れて健康的に体を動かすことができた。長期休暇にはおやつ作りの活動でおたまや箸を使って材料を混ぜたり容器に入れたりした。
		構造化等により生活環境を整える	
		姿勢と運動・動作の向上	
		姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	
	認知・行動	身体移動能力の向上	毎日の散歩やウォーキング、避難経路の確認等行う中で徐々に歩く距離を延ばし、体力がついてきた。 支援室や体育館活動で平均台や玉入れゲーム、ダンス、だるまさんが転んだなどをして、遊びながら筋力やバランス感覚を鍛えることができた。 ボウリングのイベントでは自分で球を持ち、転がすことができた。
		保有する感覚の活用	
		感覚の補助および代行手段の活用	
		感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	
	言語・コミュニケーション	認知の発達と行動の習得	6月に家族へのプレゼントでアルコールインクアートの製作活動を行った。 散歩中には1、2列で歩く練習をしたり話を聞くときは相手の顔を見て聞くことを伝えたりすることで、徐々に職員の声かけで列を並び替えて歩くことができる回数が増えてきた。 芋掘りの体験を通して大きさや形について興味をもつことができた。
		空間・時間、数等の概念形成の習得	
		対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	
		行動障害への予防及び対応	
	人間関係・社会性	言語の形成と活用	活動の事前、事後の挨拶をしたり頑張ったことや感想を発表する機会を設けたりすることで他者と伝え合うことができた。 活動前後の移行時間で絵本の読み聞かせやゲーム、クイズなど話をする時間を設け、言葉やジェスチャーでやりとりをする練習をした。 長期休暇では他者と共同で壁面作品を製作することで、それぞれの思いや気持ちを表現したり伝え合ったりすることができた。
		言語の受容及び表出	
		コミュニケーションの基礎的能力の向上	
		コミュニケーション手段の選択と活用	
家族支援	健康・生活	アタッチメント(愛着行動)の形成	イベントで動物園へ行ったり、動物がいる公園を散歩したりして様々な動物を見学することができた。 体育館ではチーム分けをしてゲームで競ったり、他者との順番を守ったりして活動することができた。 図書館や駅など、不特定多数の人が利用する公共施設を訪れて、窓からの景色を眺めたり人混みを避けたりしてルールやマナーを守りながら活動することができた。
		模倣行動の支援	
		感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	
		一人遊びから協同遊びへの支援	
	運動・感覚	自己理解と行動の調整	図書館や駅など、不特定多数の人が利用する公共施設を訪れて、窓からの景色を眺めたり人混みを避けたりしてルールやマナーを守りながら活動することができた。
		仲間づくりと集団への参加	
		自己理解とコントロールのための支援	
		集団への参加への支援	
	認知・行動	連絡帳でのやり取りや引き継ぎ時に家族の困りごとや送迎の変更などを聞いて、その都度保護者が納得できるように助言した。	外部の研修に参加したり、年間計画や個別支援計画について話合う時間を十分に確保したりすることで、職員の支援の質の向上を図った。
		外部の研修に参加したり、年間計画や個別支援計画について話合う時間を十分に確保したりすることで、職員の支援の質の向上を図った。	
		外部の研修に参加したり、年間計画や個別支援計画について話合う時間を十分に確保したりすることで、職員の支援の質の向上を図った。	
		外部の研修に参加したり、年間計画や個別支援計画について話合う時間を十分に確保したりすることで、職員の支援の質の向上を図った。	
	言語・コミュニケーション	別紙①参照	移行支援
		別紙①参照	
		別紙①参照	
		別紙①参照	

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。